

### 開設から51年の市民会館

#### 耐震性は満たしているが

#### バリアフリー等には課題も

**問** 市民会館の建て替えについて、市の考えを聞く。

**答** 同会館は、昭和46年の開設から51年が経過している。施設は兵庫県南部地震の被災後に構造部の耐震化工事を終え、安全面にも配慮し運営しているが、施設全体の老朽化やバリアフリー化など、時代のニーズに応じた構造

ではない。

建て替えについては、現在と同規模であれば少なくとも50億円以上の工事費が必要となる。今後、市役所新庁舎や新ごみ処理施設など、大規模な施設整備への多大な財政負担が生じるため、当面は修繕などで長寿命化を図って

を検討している。高校生世代とは、16歳になる年度の4月から18歳になる年度の3月まで、就職・高校中退などで高校に通っていない人も含む。対象者は約8100人で、年間約4億8千万円の予算が必要である。財源は、基金を取り崩しても確保し、実施したい。本来は国が制度化すべきと考えているが、国の制度化を待たずに始めたい。



当面は継続使用の予定

いく。地震などの災害への対応として、災害時の危険を回避するための修繕工事を行うとともに、避難誘導や初期消火訓練のほか、高齢者や障害者への対応研修にも取り組んでいく。

### 市独自の児童手当拡充 月額5千円を18歳まで 来年度からの実施を検討

**問** 子ども支援施策を積極的に進める本市として国に先駆け、18歳までの児童手当の支給拡充に取り組まないか。

**答** 本市は、こどもを核としたまちづくりを掲げ、国を待つことなく必要な支援に率先して取り組んできたが、現在、高校生世代への支援の薄さを痛感している。

そのため、高校生世代に月額5千円の本市独自の児童手当として、所得制限を設けず、来年度から支給すること

### 女性へのAED使用 配慮方法の周知へ 説明書を配置

**問** 女性へのAEDの使用をためらわないよう、市内設置のAEDに女性に配慮した説明書を配置できないか。

**答** 女性にAEDのパッドを装着する際、抵抗を感じている人がいるが、命を救うためには、ためらわずに使用することが重要である。市民救命士講習では、人垣を作り周囲から見えないようにすることやパッド装着後に服などを掛けることなど、AEDの使用を優先する方法を指導している。



ためらわない使用が命を救う

**問** 令和4年5月に明石市工場立地法地域準則条例が施行され、特定工場の緑地面積率が緩和されたが、条例対象外の工場は、市から県

に工場等の緑化に関する届け出が提出されていないため、依然として20%以上の緑地面積が必要である。今後の方針を聞く。

### 工場緑地面積率の緩和条例施行も 対象外の企業への対応を求める

**答** 県の環境の保全と創造に関する条例は、敷地面積が5千㎡以上9千㎡未満の製造業、電気・ガス・熱供給業者である工場等は敷地面積の20%以上、その他の千㎡以上の工場等には空き地の50%以上を緑地とすることを求めている。県条例の対象

### 市が管理する公園 除草や樹木の剪定 予算と人員の確保を

**問** 市が管理する公園の近隣住民から、樹木の剪定などに関する苦情を聞いている。予算と

**答** 市が管理する公園は、約470カ所、10年前から約60カ所増加している。それに伴い、除草や剪定の費用は年間約1千万円増加している。公園愛護会が結成されている公園の清掃や除草などは、同会に依頼しており、比較的規模の大きい公園や愛護会が結成されてい

ない公園などの除草は、市が計画的に行っている。樹木の剪定時期は、樹形や地域の声を踏まえ実施しているが、民地にはみ出した樹木の剪定を求める声もあり、点検を強化するなど改善すべき点があるほか、大木化や老齢化の課題もある。



サイクリング環境の向上へ

### コロナ禍や物価高騰対策 3千円のサポート利用券 市民への配布率は約98%

**問** 全市民へ3千円のサポート利用券を配布する事業の進捗よく状況を聞く。

**答** 第2弾となる市民全員・事業者サポート事業は、コロナ禍に加え、

原油価格や物価の高騰に直面している市民の暮らしを守り、市内の経済活動を支えるために実施している。1人3千円のサポート利用券を令和4年9月下旬から世帯ごとによゆうパックで配達しており、約98%の市民に届いている。長期不在等で届けられなかった利用券は、市役所の開庁時間だけでなく、夜間や土日にも窓口を開け、多くの市民が受け取れるよう努めている。利用できる店舗は、事業開始当時から大幅に増



市民の暮らしと地域経済を守る

加し1200店を超え、使用率は、4年11月末時点で約35%である。同事業は、市民の生活支援や市内事業者への経済支援に有効に活用されていると考える。

### 自転車を活用した観光振興 経済・社会的効果に期待 まちのにぎわい向上を

**問** 自転車を活用した観光振興などの取り組みについて聞く。

**答** 自転車の活用は、脱炭素社会の実現や災害時における交通機能の維持、健康増進、サイクリストの来

訪による観光振興など、多くの経済的・社会的効果につながると思われる。観光面については、自転車地域を巡り、沿線の魅力を楽しくサイクリング環境の向上へ

ズムの人気の高まりを受け、兵庫県と関係市町がひょうごサイクリングモデルルートを設定し、サイクリング環境の向上に取り組んでいる。本市では、海岸線がモデルルートとなっており、その魅力を生かしたサイクリストの受け入れによるまちのにぎわい向上を目指している。そのため、県と連携して、江井島海岸の休憩施設等にサイクルラックを整備し、サイクリングロードの段差解消などを行っている。